

柿の木の夢が実ることを願って！

長和小学校長 阿部 聖司

朝夕の冷え込みが厳しくなり、先週は長和の地にも雪が積もりました。いよいよ本格的な冬を迎える時期となりました。校庭には、収穫しきれなかった柿の実が、雪景色の中に鮮やかな朱色を浮かび上がらせ、長和ならではの初冬の風景が映えます。



さて、11月に入り、今年は3・4年生が校庭の柿の実を収穫し、へたをアルコールにつけて渋抜きをし、おいしい柿にする作業が行われました。全校生徒にも配られ、昨年度までの干し柿とはまた違った柿の味を楽しむことができました。

また、11月1日（金）には長和小学校恒例となった柿っ子祭りを開催し、体育館で3年生以上が工夫を凝らした出店をして全校児童で楽しむと同時に、全校69名が将来の夢を書いて「柿の木の夢」としてホールに掲示しました。

将来の夢はさまざまでしたが、「プロ野球選手」や「ラグビー選手」など、スポーツ選手になりたい児童が最も多く、続いて「医者」「助産師」など医療関係の仕事、そして「パティシエ」「ケーキ屋さん」などお菓子関係の仕事の順で人気がありました。また、「看護師」や「警察官」等、保護者の仕事にあこがれ、将来の職業にしたいと考えている人や、「まだ決まっていないけれど人の役に立てる仕事につきたい」「自分の好きなことを仕事にしたい」という夢もあり、親の背中をしっかりと見て育てている子供、社会貢献や自己実現を考えている子供など、子供の成長や将来へのしっかりとした思いが柿の実から感じられました。



夢をもち、その夢をかなえるためには努力することが大切です。それは誰もわかっていることでしょう。本当に夢をかなえるためには、何が大切か。それは夢を実現するために、あきらめずにコツコツと努力を続けることです。

子供たちには、柿っ子祭りの終わりに、「継続は力なり」という言葉を紹介し、夢をかなえるために今から努力を続けてほしいと伝えました。

子供たちが書いた柿の木の夢が、10年後、それぞれが大人になったときに実現することを願ってやみません。学校は、そのための最大限の手助けをしていきたいと考えています。



『将来就きたい仕事ベスト5』

- ① スポーツ選手（野球、ラグビー、サッカー他） … 15人
- ② 医療関係（医者、看護師、助産師、薬剤師他） … 9人
- ③ お菓子関係（パティシエ・ケーキ屋・クレープ屋他） … 7人
- ④ 動物関係（獣医、動物保護センター、動物園他） … 5人
- ⑤ おしゃれ関係（美容師、ファッションデザイナー） … 5人

ご協力ありがとうございました！

学芸会の後に行われた「友愛セール」はおかげ様で大盛況でした。パンや野菜の販売、PTAや地域の皆様のご協力によるバザーなど、たくさんの方で賑わいました。お忙しい中、準備や当日の運営に携わってくださった**長和小学校PTA環境整備委員会の皆様、本当にありがとうございました。**

なお、収益金（**¥28,600**）につきましては全額、長和小学校の周年行事に活用させていただきます。



柿っ子祭り・甘柿作り（3、4年生）

たとえ時間がかかっても、**「夢」をかなえるために！**

実は、柿がトレードマークになったのは、かなり前のことです。

昭和46年に開校90周年を祝って庭に6本の柿の木を植えたそうです。そのうち1本が枯れずに残って、毎年、実をつけるようになりました。

その後、今から28年前の平成3年に「柿の木集会」という行事として始まりました。それまでは、6年生だけが吊るし柿を作っていたのですが、当時の校長先生はじめ先生方が、長和小の特色にしたいと思い、全校で取り組むようになりました。

昔の長和小の子供たちも、今と同じように夢を書いて校内に貼っていたと思います。その子供たちも20年以上たった今、もう大人になっています。夢は叶ったのでしょうか。もしかしたら、親子で柿っ子祭り、干柿（甘柿）作りを経験したご家庭もあるかもしれませんね。

柿の木は実がなるまで時間がかかりますが、子供たちには、柿の木がきれいなオレンジ色に染まっていくように、時間がかかっても夢をかなえてほしいと思います。

親睦が深まりました！

優勝…6年生 2位…5年生 3位…4年生

11月9日にPTA保体部主催の「ミニバレーボール大会」が行われました。準備体操からすでに息の上になっている方も???

どの学年も、試合を重ねるごとに和気あいあいと盛り上がり、体育館は笑顔と歓声につつまれました。やっぱりスポーツはよいですね。荒委員長はじめ保体委員の皆様、準備から運営までありがとうございました。



「ふれあう」っていいね！

11月19日には、1、2年生が「ふれあいタイム」として、地域の先生である佐藤勝幸さんと山田美和さんに、それぞれ運動や音楽を学びました。「ガラッキー」「インディアカテニス」という初めての運動を経験したり、歌やリズム遊びを体験したりする子どもたちの目は輝き、表情は生き生きとしていました。活動の楽しさだけでなく、地域の先生とふれあうことを心から喜んでいることのあらわれだと感じました。

長和地区には学校以外にも、このようにたくさんの地域の先生がいます。とても幸せなことだと思います。佐藤さん、山田さん、ありがとうございました。

